



「株式会社周防灘ビルサービス社内報」をお届けします。会社のトピックスや成功事例を共有します。皆さんの活躍を振り返り、今後の励みとなる情報を発信しますので、ぜひご覧ください。

TOP MESSAGE

今月の言葉  
啐啄同時（そったくどうじ）



「啐啄同時（そったくどうじ）」  
禅の教えから生まれたもので、卵から雛が孵る瞬間を例えにしたものです。

- 「啐（そつ）」  
雛が殻の中から外へ出ようと、内側から 殻をつつくことを指します。
- 「啄（たく）」  
親鳥が雛を助けるため、外側から殻をつつくことを指します。

【この言葉が教えてくれること】

成長や成功にはお互いのタイミングや協力が必要であり、どちらか片方の努力だけでは不十分である、ということ気付かせてくれます。

例えば、チームで何かを進めるときに「相手が動かないから自分もしない」あるいは「自分だけが頑張っている」と感じてしまうことがあります。しかし、物事を前に進めるには、\*\*自分から行動を起こすこと（啐）\*\*と、\*\*相手の努力を察し、サポートすること（啄）\*\*の両方が揃う必要があるということ教えてくれています。

【相手のせいにはしない、相手一方にだけ求めない心構え】

この言葉は「相手がしてくれないから、（言ってくれないから）うまくいかない（仕事が進まない）」という他責の考え方を否定し、お互いに「自分はどう動けるだろう？」と考えることの大切さを教えています。そして、自分が動くことで相手も動き出し、互いの努力が重なり合う瞬間に初めて殻が破れるのです。

【まとめ】：啐啄同時の実践

- まずは自分から内側をつつく意識を持ち行動をする（啐）。
- 相手の行動を尊重し、外側から助ける行動をする（啄）。

「相手のせいにするのではなく、自分からアクションを起こす」ことが、チームや組織全体の成功につながります。この教訓を日々の取り組みに活かしていきましょう。

クリーンクルーとお客様の間で生まれる日常のエピソードを記録したコーナーです。気付きや学び、発見がもたらせることを願って綴ります。

## ピカピカ日記

### お客様の立場になって提案

あるお店の管理者の方からこんな相談を受けました。

「他の清掃会社さんをお願いしているんですが、床の黒ずみが全然取れなくて……。このままでは利用者の評判が悪くなりそうで困っています。」

話を詳しく聞くと、通常の清掃で済ませる対応しか提案されておらず、根本的な改善策には至っていないとのことでした。私たちは状況を現場で確認し、

「これは剥離清掃が必要です」

と即座に提案しました。

管理者の方は最初、剥離清掃という言葉に少し戸惑った様子でした。「そこまで大掛かりなことをしなくてもいいんじゃないか」との声もありましたが、具体的なメリットや作業後の仕上がりイメージを丁寧に説明した結果、「そこまでおっしゃるならぜひお願いします」と信頼を預けていただけました。



特に頑固な黒ずみの箇所に対してはスタッフが持てる技術を総動員。手作業と機械を組み合わせ、一切の妥協なく清掃を行いました。

翌朝、管理者の方がフロアを見て開口一番に言ったのは、「これ、本当に同じ床ですか？」という驚きの声。続けて、「どうして最初からこの提案をしてくれる清掃会社に頼まなかったのかと思います」と、違いを実感していただけた様子でした。

「ただ清掃をする」だけでなく、「課題を見抜き、最適な解決策を提案する力」の大切さを再認識しました。



## 2025年 株式会社周防灘ビルサービス新年会開催

令和7年1月11日青いりんごにて 今年もおよそ30名が集い、輝かしい

2025年に向けての決意を新たにすべく新年会が開催されました。くん製料理から、お刺身、柔らかいお肉等おいしいお料理に舌鼓を打ち、貸し切りの空間のカラオケで気持ちも一つになり、大いに盛り上がりました。今回出席が叶わなかった方も、次回にお会いできますことを楽しみにしております。

